

|                      |        |      |       |     |           |
|----------------------|--------|------|-------|-----|-----------|
| 英語1A<br>(English 1A) |        |      |       |     | 担当教員      |
|                      |        |      |       |     | 准教授 今井 千壽 |
| 科目群                  | 開講期    | 授業形態 | 単位数   | 必修等 |           |
| 外国語                  | 1年次 前期 | 講義   | 1.5単位 | 必修  |           |

#### 【概要】

英語運用能力を向上させるためには、まず基礎が確立されていることが不可欠であるが、最近はずしもそれが出来ていない傾向が見られる。そこで本授業では、文法・構文・語彙などに関して、科学的な文章を読み書きする場合、特に重要と思われるものを選び、解説する。その上で、自然科学系の文章を教材として使用しながら、薬学英语学習にもつながるような英語技能を養成する。CDによる聞き取りの練習も併せて行う。

#### 【授業の一般目標】

基本的な英語の知識を確実に身につけ運用できるようにする。同時に、かなりの長さの英文を読み、その中の情報をすばやく的確に把握する能力を習得する。

語学の学習には個人の不断の努力が必要であることを自覚して、真面目に授業に取り組んでもらいたい。

#### 【準備学習(予習・復習)】

授業の性質上、予習は不要であるが、復習は是非してもらいたい。授業で扱った英文を読み直し、重要事項や語彙を確実に頭に入れていくことが肝要である。また、ほぼ毎週宿題を課すので、必ず期限内に提出すること。

#### 【学習項目・学生の到達目標】

| No | 学習項目       | 担当教員 | 学生の到達目標                        |
|----|------------|------|--------------------------------|
| 1  | 時制(1)      | 今井   | 時制の使い分けについて理解する。               |
| 2  | 時制(2)      | 今井   | 文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 |
| 3  | 能動態と受動態(1) | 今井   | 能動態と受動態の違い、効果的な用法について学ぶ。       |
| 4  | 能動態と受動態(2) | 今井   | 文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 |
| 5  | 分詞(1)      | 今井   | 過去分詞、現在分詞、分詞構文について知識を整理する。     |
| 6  | 分詞(2)      | 今井   | 文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 |
| 7  | 助動詞(1)     | 今井   | 様々な助動詞の意味の違いや用法について理解する。       |
| 8  | 助動詞(2)     | 今井   | 文法事項等に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。 |
| 9  | 冠詞(1)      | 今井   | 不定冠詞、定冠詞、無冠詞の使い分けを学ぶ。          |
| 10 | 冠詞(2)      | 今井   | 文法事項に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。  |
| 11 | 仮定法(1)     | 今井   | 仮定法の多様なパターンを理解する。              |
| 12 | 仮定法(2)     | 今井   | 文法事項に留意しながら長文を読み、内容を正確に理解できる。  |
| 13 | 句読法        | 今井   | 様々な句読点(記号)の使い方について学習する。        |
| 14 | その他        | 今井   | 上記以外の文法事項について確認する。             |
| 15 | 総括・まとめ     |      |                                |

|                             |                 |                         |
|-----------------------------|-----------------|-------------------------|
| (書名)                        | (著者・編者)         | (発行所)                   |
| 教科書 Closing the Culture Gap | Timothy Kiggell | MACMILLAN LANGUAGEHOUSE |

リーディングに関してはプリント配布

#### 【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を中心に、出席点、課題の提出、授業中の貢献度などを併せて評価する。

#### 【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

質問等があれば、育心館4Fの研究室に来ること。メール(imai@mb.kyoto-phu.ac.jp)でも受け付ける。